

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成29年10月4日

①学校名:	鈴鹿医療科学大学 大学院(私立)	②所在地:	三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1			
③課程名:	医療科学研究科医療科学専攻 修士課程名古屋サテライトコース (医療情報実践学分野)	④正規課程/履修証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	2016/9/1	
⑥責任者:	医療科学研究科長 葛原茂樹	⑦定員:	医療科学研究科医療科学専攻 修士課程30名 (平成30年度当該分野修了予定者数5名)	⑧期間:	2年間	
⑨申請する課程の目的・概要:	超高齢化が進展する我が国において、国民の健康を向上させながら医療費を抑制することが喫緊の課題である。このため現在、保健医療福祉分野で発生するあらゆる情報を活用することにより健康社会の実現に向けた施策が講じられてきている。しかし、このシナリオを具現化するには、少なくとも「安全・安心を担保した情報環境の構築・管理・運用能力」、「データを分析し戦略を立てる能力」、「分析に耐えうる情報基盤を構築する能力」を持った人材が必要となる。高度に専門化した今、一人でこれら全ての能力を持つことはできず、夫々の分野を理解したうえで全体最適を図り、協働できるリーダー人材が求められる。本コースはこの目的のために社会人を対象に設立された。個々の学生の専門分野での研鑽はその分野の第一人者を指導教員とすることで解決し、幅広い内容をテーマとしたワークショップ型授業を介して課題を発見し、協働する中でリーダーシップを養う。					
⑩4テーマへの該当の有無	無	⑪履修資格:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学を卒業したもの</li> <li>・学位授与機構から学士の学位を授与されたもの</li> <li>・本研究科において大学卒と同等以上の学力があると認められたもの など</li> </ul>			
⑫対象とする職業の種類:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関における情報部門担当者、管理者</li> <li>・医療情報関連企業においてシステムを開発・導入・運用に当たる担当者、リーダー</li> <li>・その他、医療情報関連の企業、教育機関、自治体等に従事するもの</li> </ul>					
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能)		(得られる能力)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療情報システムの基盤環境の構築</li> <li>・医療関連データの分析</li> <li>・分析に耐えうる情報基盤の構築</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画力、マネジメント力、リーダーシップ</li> </ul>			
⑭教育課程:	医療情報システムデザイン学特論Ⅰ・Ⅱにより、臨床的・医療情報技術的側面から現状の医療情報システムの問題点とそのあるべき姿を理解し、今後の展開の方向性について具体的なビジョンを身につけ、分析に耐える環境構築に関する知識と技術を修得させる。セキュリティ実装技術特論と発展的システム運用論Ⅰ・Ⅱにより、安全安心の環境構築及び運用に関する知識と技術を修得させる。医学統計特論、データ表現技法特論などにより、臨床データから医学的に意味のある結果を得るための分析能力と可視化する力を修得させる。					
⑮修了要件(修了授業時数等):	本課程に2年以上在学して所定の授業科目について30単位以上(必修10単位、選択20単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること。					
⑯修了時に付与される学位・資格等:	修士(医療科学)					
⑰総授業時数:	34 単位	⑱要件該当授業時数:	30単位	該要件 企業等 双方向 実務家 実地	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	88%
⑳成績評価の方法:	授業の成績、プレゼンテーションの内容、修士論文の評価、などを総合的に判断する。					
㉑自己点検・評価の方法:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。</li> <li>・専任教員が全授業に出席し、さらに教務委員会名古屋サテライト部会において教育内容の成果の検証や評価を行う。</li> </ul>					
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了者による同窓会を設立し、定期的に状況を把握する。</li> <li>・学会発表等の実績を把握する。</li> <li>・学部の非常勤講師として招聘する。</li> </ul>					
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 大学院医療科学研究科の教務委員会名古屋サテライト部会に(株)エンベックスエデュケーションおよび鈴鹿中央総合病院から外部委員を招聘し、定期的に開催する委員会において教育課程に関する意見を聴取し、課程の見直しに反映させる。 (自己点検・評価) 大学院医療科学研究科の教務委員会名古屋サテライト部会に、日本医療情報学会医療情報技術師育成部会および(株)ミエデンシステムソリューションから外部委員を招聘し、定期的に開催する委員会において評価していただき、課程の見直しに反映させる。					
㉔社会人が受講しやすい工夫:	週末(土・日)の開講 開講場所を名古屋の中心部に設置					
㉕ホームページ:	(URL) <a href="http://www.suzuka-u.ac.jp/special/nagoya_satellite/index.html">http://www.suzuka-u.ac.jp/special/nagoya_satellite/index.html</a>					

事務担当者名:	山崎 領	所属部署:	法人事務局企画広報課
連絡先:	(電話番号) 059-340-0330 (E-mail) o-ymsk@suzuka-u.ac.jp		

\* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。  
\* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。